



■ 参院選を振り返って（事務局長 田代 周）

JAMと基幹労連が「村田きょうこ」候補を擁立して戦った2022年参院選は7月10日投票の結果、“無事当選”を果たしました。

皆様からのご支援に感謝申し上げます。

本来なら“見事当選”と書くべきなのでしょうが、今回の選挙では3年前の選挙とは党を替えての立候補でした。3年前と同じ選挙を繰り返していたら今回も当選できなかつたこととなります。

右の表は連合を構成する産別候補の選挙結果です。今回選挙ではどの候補も前回に比べて得票数を減らしていますが、得票順位は変わっていません。これが産別組織の集票力というものでしょう。（【立】1～4位記載割愛）

現在の参院比例区の投票は個人名あるいは党名を書くことになっている ⇒その合計数で党としての当選者数が決まる ⇒党内の当選順位は個人名票の数による

党の性格によって違いがあるが今回選挙では【立】【国】は党名票が70%代、他党では90%に及ぶところもあり、個人名3万票代でも当選となる人もいた。

連合を構成する産別で組織力の大きいところはそれぞれ【立】【国】いずれからか組織内候補を擁立して選挙に臨んでいます。

一般的に官公労系は【立】、民間企業労組系は【国】からの立候補が多いようです。

党の組織力が大きければ集まる票も多くなりおのずと当選者の数も多くなります。今回の選挙結果では【立】が7名、【国】は3名でした。

因みに立民・国民が一つの党で今回選挙に臨んだとして計算してみたが、当選者数10名は変わらず。電機は当選、立民最下位当選者が入れ替わるという結果になった。

今までJAMと基幹労連は【国】から候補を擁立し選挙戦に挑んできました。しかし、過去3回の参院選では仲間たちが多くの汗を流し集票に努めて戦いに挑みながらも当選を果たすことができませんでした。

結局、表を見て分かる通り私たちの集票力は【国】【立】どちらから出ても5番目ということです。

集票力で上回る電機連合候補は今回も当選できませんでした。

産別	前回選挙		今回選挙	
電力総連	256,935	【国】3位	238,956	【国】1位
自動車総連	258,507	【国】2位	234,744	【国】2位
UAゼンセン	260,324	【国】1位	211,783	【国】3位
電機連合	192,586	【国】4位	159,929	【国】4位
JAM 基幹労連	143,492	【国】5位	125,340	【立】5位
【国】国民民主党 【立】立憲民主党 赤字:当選				

国会議員がいるか否かで情報の入り具合が全く違い、私たちの意見や思うところを訴える手段も変わる、ということから「国政の場に組織内議員を！」は悲願でした。

今回選挙で立候補する党の鞍替えに際しては組織内でいろいろな意見があったようですが“無事当選”を果たした「村田きょうこ」議員のこれからの活躍に期待しましょう。

ともに走り抜けてくださった皆さまのおかげで、初当選することができました。
心より感謝申し上げます。
ものづくり産業・現役世代・女性の代表として、全国でお寄せいただいた声を必ず国政の場に届けてまいります。

村田きょうこ With You



■ 活動報告 7月22日「集いの会」



シニアクラブ活動20周年記念事業の「集いの会」が羽田沖で屋形船にゆられてJAZZ生演奏に浸るという企画で実施されました。

コロナ第7波が勢いを増す中で、参加者の皆様には検温に協力願ひ、船内でも極力マスクを外さずに過ごしてもらおうようお願いしての開催となりました。

参加者は31名(家族5名含む)、ほかにバンドメンバー8名の合計39名でした。

<http://jvc-senior.com/page326.html> 参照

■ 活動報告 7月26日「Online 会合」

今回のテーマは普段見慣れている平面の世界地図からでは分からない新たな発見をしよう、として開催されました。

ネットを利用して地球を立体的に眺め、東京の真東に進むとどこに至るか、航空機はどのような航路を飛んでいるか眺めてみました。

<http://www.jvc-senior.com/20220726online2.pdf> 参照



■ トピックス「携帯電話の通信障害」

7月2日(土)未明に発生したKDDIの通信障害ではau携帯電話が全くつながらない、というニュースが繰り返し報道されていました。

3日の日曜日には山で遭難した登山客が110番通報ができない状況にもなってしまったようです。

思い出すのが今年4月、GW直前に起きた知床の観光船事故です。船長の携帯電話がauのため、秘境知床では通話圏外となってしまう、客のDocomo携帯電話で危急を知らせたと。これは電波のカバーエリアの問題で通信障害とは違うが、いざとなると命にかかわる問題にもつながってしまいます。

現在、携帯電話は多くの人に利用され、業務上の通信手段としても多方面にこの電波が利用されているため、社会システムでも問題があったようです。

警備システムに異常が起きた、気象庁ではアメダスでデータ取得ができなくなった、また一部銀行の店舗外のATMが稼働しない、宅配便のドライバーが連絡取れない、云々と。通信障害で「おわび返金200円」との報道があったが、業務に支障があった人たちにとってこれで納得できるのでしょうか。

【おまけ】私、田代の携帯もauですが、電話には支障があったが、メールは届いています。(回復後に届いたのかもね)

■ トピックス「ヨーロッパの熱波」

東京では6月に梅雨明けして、猛暑が続きました。しかし、7月に入って戻り梅雨となったようでしばらくぐずついた天気が続き、再び梅雨明けを迎えたかのように暑い日が続いています。

朝、BS101のワールドニュースを観ていると、英国BBC放送で毎日のようにヨーロッパが熱波に襲われているとの報道が繰り返されていました。ロンドンでは初めて40℃を超えた、スペイン・ポルトガルでは45℃を超え熱中症で死者300人、フランスでは山火事が…、と異常な高温状態が続いていたようです。

さらにグリーンランドの氷の溶け出しが加速している、とのニュースがありました。グリーンランドはオーストラリア大陸の30%近い大きさで世界最大の島。

地球温暖化の影響で北極の氷が溶けている、との話は今までありましたが、これは海面上昇には直接影響がない話(シロクマにとっては死活問題だが)。

グリーンランドの氷河が崩れ海に流れればこちらは海面上昇に直につながる話です。

ネットで調べるとこの氷が全て溶けたら海面は7.2m上昇するとのことで我が家は海の中になってしまう。



Google Earthで地球を見ると、南極とこのグリーンランドは真っ白に彩られています。

今回の熱波は1000年に一度の異常気象と言われていますが、地球温暖化もここまで来たか！という感じです。これから毎年かもしれません。グリーンランドはいつまでも真っ白でいてほしいところです。

■ 事務局から

1) コロナ禍が大爆発しています。一日で20万人を超える感染者数が発表される日もあり、週単位で見た日本のコロナ感染者数が世界最多となったとの報道もありました。

そのような中での7月22日「集いの会」開催でした。参加者が大幅に減るのではないかと、という事前の心配と共に、開催後の参加者各位の健康状態はいかに、という心配もありました。

その後、濃厚接触者としての警告を受けることなく過ごしているの、参加者全員健康には問題なかったものと思っています。

2) 令和3年の日本人平均寿命が10年ぶりに縮んだとの発表がありました。理由はコロナとのことです。

平均寿命が毎年少しずつ伸びている中、前年を下回るのは平成23年の東日本大震災の時以来とか。

シニアクラブは今年8月から令和5年度の活動に入っていますが、新年度の総会や具体的な計画はこのコロナの状況を見極めながらご案内していきます。

ご了解ください。

事務局長 田代 周